

しみず 清水ひろき

30歳



ご挨拶

学生時代から過ごしてきた緑豊かな成田市が何よりも大好きです。その魅力を守りながら、成田空港に関わる都市開発を着実に進め、地域の経済や暮らしの質をバランスよく高めていきたいと考えています。

私は国際医療福祉大学成田キャンパスを卒業後、水道企業で研究者として勤務し、成田市内の大学との共同研究にも携わってきました。

また水のプロフェッショナルとしての経験を活かして、

水道設備の適切な整備と維持に力を注ぎ、安全で快適な暮らしを支えてまいります。

現在は子ども食堂「からべえ」の副代表として地域活動にも取り組んでおり、ボランティアは高校時代から続けています。東日本大震災の復興支援を目的としたボランティア団体の立ち上げなど、これまで精力的に活動してきました。

皆さまとともに成田をさらに住み良い街にするため、全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



6つの重点政策

成田市は、千葉県内で二番目に財政力の高い自治体であり、この強みを活かして、市独自の負担軽減策を進めることができます。財政的な力があるからこそ、市民生活を支えるための取り組みをより積極的に進めることが求められています。

物価の上昇が続き、医療費や保険料、水道料金、子育てにかかる費用など、経済的な負担が大きくなっています。だからこそ市民の暮らしに直接関わる分野を優先して支えていくことがとても大切です。

01

国民健康保険料、上下水道料金の引き下げなど大胆な負担軽減

02

JR成田駅西口のロータリー整備など、市民の安心と安全を守る都市整備の実現

03

子ども・子育て世代、高齢者への支援を充実

04

外国人労働者とその家族と共生できる「国際都市・成田」の実現

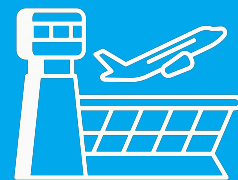
05

大規模開発だけに頼らず、「地域で企業を育てる政策」を

06

学校給食の地産地消を通じて、市内の農家の所得補償を実施し、成田産農産物のブランド力向上

住みよい成田プロジェクト



プロフィール

- 熊本県人吉市に生まれる（1996年）
- 芝浦工業大学柏中学校を卒業（2012年）
- 芝浦工業大学柏高等学校を卒業（2015年）
- 国際医療福祉大学成田キャンパスに一期生として入学し卒業（2020年）
- 2025年まで民間の水道企業に研究者として勤務し、成田市内で大学との共同研究に従事
- 下水道の維持管理に必要な技術を証明する下水道第3種技術検定に合格
- 現在『週刊新社会』記者として、英語、フランス語、スペイン語の語学力を活かして国際ニュースを担当
- フリーランスのビデオグラファーとして活動中
- 子ども食堂「からべえ」副代表
- 成田の医療と福祉を考える会代表



清水ひろきの政策提言！

大胆な負担軽減

- 二年連続で上昇している国民健康保険料の引き下げ
- 市内に混在する県営水道と市営水道の料金体系を一本化したうえで、上下水道料金の引き下げをめざす
- 子ども・子育て世帯の負担軽減

子育て支援

- 兄弟姉妹で同じ保育園に預けられる制度づくり
- 給食費を含めた保育料の実質無償化
- 保育士の待遇改善による人材確保
- 学童保育の給食導入とその無償化
- 学童保育の少人数化

高齢者支援

- 公立・公的病院の統廃合や病床削減を進める「地域医療構想」の運用に対しては慎重に対応し、地域の医療体制の拡充を図る
- 高齢者が住み続けられるニュータウンをめざして、団地内に訪問医療の拠点を設置

産業政策

- 成田の中小企業の受注機会拡大に向けて、自治体が中小企業の新商品を試験的に購入・宣伝する「トライアル発注制度」を拡充
- 大規模開発だけに頼るのではなく、「地域で企業を育てる」政策への転換

共生のまち・成田

- 在日外国人の子どもたちが、公立学校で安心して学べる体制の整備
- 外国人観光客の対応におわれる医療機関への支援強化
- 増加傾向にある在日外国人の子どもたちと向き合う公立学校の教員への支援強化

農業

- 学校給食の地産地消を通じて市内農家の所得安定と、成田産農産物のブランド力向上を図る
- 農地中間管理機構（農地集積バンク）については、企業主体の集積が進まないよう地域での監視を強化し、小規模農家を支援する仕組みの確立

後援会のご案内

成田の自然や暮らしを守りつつ、未来へとつなぐまちづくりを皆さまと一緒に進めたいと考えています。ぜひ後援会にご入会いただき、ご支援・ご意見を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

清水ひろき 選挙ドットコム

検索

清水ひろき後援会

〒286-0037

千葉県成田市橋賀台3-5 19号棟505号室

🏠 <https://go2senkyo.com/seijika/199425>

後援会規約（抜粋）

本会は清水ひろきの政治活動を支援することを目的とする。
本会は前項の目的を達成するため次の事業を行う。講演会、座談会等の開催、会報等の発刊及び配布、関係諸団体との連携、その他本会の目的達成のため必要な事業